

各相談室・検査の連絡先

- 緩和ケア室（相談受付／月～金曜13:00～15:00）
Tel／088-633-7457（Fax兼用）
- PET/CT検査（受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-812
- セカンドオピニオン外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9654 Fax／088-633-9978 ※完全予約制
- 女性外来（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9177（Fax兼用）※完全予約制
- 遺伝相談室（予約受付／月～金曜13:00～16:00）
Tel／088-633-9218 Fax／088-633-9219 ※完全予約制
- 臨床試験管理センター（受付／月～金曜9:00～17:00）
Tel／088-633-9294 Fax／088-633-9295
- 補完代替療法室・おくすり相談室（予約受付／月～金曜9:00～12:00）
Tel／088-633-7960 Fax／088-633-7961 ※完全予約制
- アンチエイジング医療センター（予約受付／月～金曜9:00～16:00）
Tel／088-633-9106 Fax／0120-335-979 ※完全予約制
- 美容センター（予約受付／月～金曜14:00～16:00）
Tel／088-633-7047（初診）088-633-7903（再診施設・案内）※完全予約制
- 地域医療連携センター【医療相談窓口】（相談受付／月～金曜8:30～17:00）
Tel／088-633-9107・088-633-9056 Fax／088-633-9107

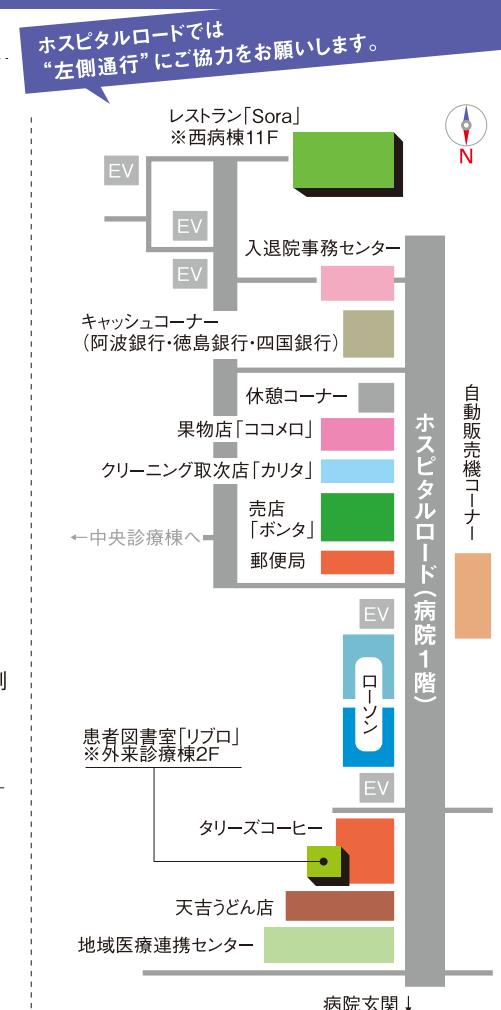
編集後記
私が徳島大学に勤務して最初に配属になったのが、医学部附属病院でした。その頃、病院再開発の構想が持ち上がり、20年を優に超える壮大なプロジェクトを聞いた私は、なんて荒唐無稽な夢物語なのだろうと思っていました。時は流れ、病院再開発も新外来診療棟建設も大詰めにさしかかっています。あの高度成長期の名残が忍ばれる今の外来診療棟がなくなると、“昭和も遠くになりにけり”と思わずにはいられません。（事務部H）

発行者 病院長 安井 夏生

編集部会長 楊河 宏章

広報委員会 松尾 敬志 香美 祥二 武田 憲昭 柿内 聰司 柏原 稔也
委員 松崎 健司 篠原 千尋 桐野 靖 久米 博子 井上 千尋
熊谷 圭司 梶谷 和也 原田 直樹 川野 茂 安崎 郁子
小林 保数 島井 健一郎

事務担当 総務課広報・企画部門 Tel.088-633-7697



徳島大学病院
Tokushima University Hospital

<http://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は下記までお寄せ下さい。
bsoumuss1@tokushima-u.au.jp

カラダもココロも健康に

いきいきらいふ

no.45
2014.AUTUMN

リスクを減らす 肺がん手術と口腔ケア

■CLOSE UP

キャリア形成支援センター

■徳大病院ニュース

- ・「ISO9001規格説明会」を開催しました
- ・「ふれあい看護体験」を実施しました
- ・「病院内阿波踊り」を開催しました
- ・「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成 平成26年度第1回報告会」を開催しました
- ・「医療技術職員職場体験」を開催しました
- ・市民公開講座等のご案内
- ・禁煙川柳
- ・治験に参加しませんか？

■病院のお仕事いろいろ

- ・摂食・嚥下障害看護認定看護師
- ・感染管理認定看護師

■ボランティア募集**■地域連携の部屋**

地域連携病院⑫きたじま田岡病院

■食事のヒント

動脈硬化を予防しよう ～脂肪を上手にとるポイント～

徳島大学病院
Tokushima University Hospital

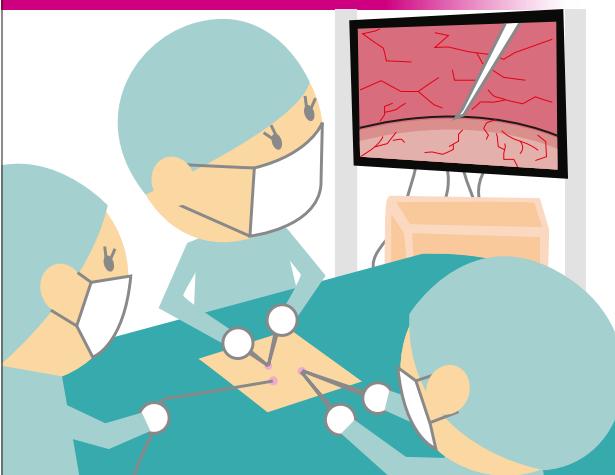


01

特集

リスクを減らす 肺がん手術と 口腔ケア

胸腔鏡手術



肺がんは、日本のがんによる死亡原因の1位で、主な原因是喫煙とされています。がんは、進行すると隣接する臓器に転移するため、できるだけ早期に発見することが大切です。しかし、早期の肺がんは症状が出ないことが多いなどなので、日頃から定期検診や人間ドッグなどを受けておくことがすすめられています。

少し昔までの肺がん手術と言えば、傷は20~30cmで、あら骨も切らなければできませんでしたが、最近では内視鏡を使う「胸腔鏡手術」が主流となり4cm程度

の傷で手術ができるようになりました。このため身体への負担が減り、高齢の方でも安全に肺がんの手術を受けることが可能となりました。

しかし、無事手術を終えたからといって安心できるとは限りません。通常は術後1週間で退院できますが、万が一、術後に肺炎を起こしてしまうと何ヵ月も入院が必要になる場合があります。ただでさえ手術で肺の一部を取ってしまっているのに、残った肺に肺炎を起こすと大変苦しい思いをします。



口腔ケアの流れ

入院前

- レントゲン検査
- 治療計画
- むし歯や歯周病の治療
- 歯のクリーニング
- 口腔ケア指導

なぜ 口腔ケアが大切?



肺炎は細菌などの病原体が肺に入つて起こる病気ですが、細菌の侵入経路の1つが口（口腔）です。口腔内にたくさん細菌が繁殖していれば、それだけ肺炎のリスクが高くなるというわけです。手術では人工呼吸が必要となり口から気管にチューブを入れますが、その際に口腔の細菌がチューブとともに気管に入った場合、術後は普段よりもむせやすい状態なので口腔の細菌を吸い込んだりすることが肺炎の原因になります。

つまり、術前後で口腔ケアを行うことで口の中の細菌の数を減らし、肺炎を防ぐことができるのです。特に、むし歯や歯周病の人は細菌の数が多いので、口腔ケアが大切です。

手術前

- 専門的口腔ケア

手術後～退院前

- 専門的口腔ケア
- 退院後のセルフケア方法や注意点の指導

退院後

- 毎日のセルフケア
- かかりつけ医での定期的な受診

口の中を綺麗にし、早期回復を目指す!

肺がん手術と口腔ケア。一見、何のつながりもないようですが、そこには密接な関係があるのです。そこで今回は、呼吸器外科で行う肺がん手術と併せて、口腔ケアを紹介します。

02

— 患者の皆様へ —

病気の早期発見のためには、日頃から“かかりつけ医”による定期検診を受けることが大切です。同じように“かかりつけ歯科医”を受診し、定期的な口腔のチェックと歯科治療も受けておきましょう。そして定期的な検査で自分の身体の状況を把握し、元気な身体を維持しましょう。



■説明は
徳島大学病院
呼吸器外科
滝沢 宏光(たきざわ ひろみつ)副科長
口腔管理センター
山村 佳子(やまむら よしこ)特任助教
■問い合わせ
Tel. 088-633-7743(呼吸器外科外来)
Tel. 088-633-7369(口腔管理センター)

03

CLOSE UP!



キャリア形成支援センター

～医療人のキャリア形成を支援し、質の高い医療を提供する人材の育成を目指す～

キャリア形成支援センターは本院に所属する全てのスタッフを対象とし、それぞれの専門職のキャリア形成を支援するとともに、職種間の連携によるチーム医療教育の推進を目的として様々な活動を行っています。

●生涯にわたるキャリア形成を支援

近年、医学の進歩はめまぐるしく、医療に携わる者は、その一人一人が自己啓発や自己研鑽を重ね、キャリアアップを図っていくことが求められています。しかし、個々のスキルアップには限界があり、組織的なキャリア形成の支援が必要になっています。

本院キャリア形成支援センターは、それぞれの専門職が将来の目標とその道筋が明確となるよう、また必要なスキルアップを図ることを可能とするため、院内外の各部門と連携して、「卒業後の教育・初期トレーニング・専門性の向上・生涯学習」と、生涯にわたるキャリア形成をトータルでサポートしています。

●専門職連携教育により、チーム医療の充実を図る

当センターには、医師・歯科医師・看護師・医療技術職・事務職の5つの部門があり、それらの部門が教育や研修を行っていますが、それらの研修に加え、チーム医療の充実を目的として、多職種が参加する研修を数多く開催しています。例えば、超音波に関する講習では、医師や検査技師が参加することにより、お互いの知識や技術面でのノウハウを提供しあうなど、職種を超えた情報交換や交流が可能となります。本人のスキルアップという「縦の教育」と、部門を超えた職種横断的な連携という「横の教育」を組み合わせることにより、安全で質の高い医療を提供できる人材の育成やチーム医療をより強固なものとするための専門職連携に繋げています。

04



■説明は、
徳島大学病院キャリア形成支援センター
赤池雅史(あかいけ まさし)センター長(写真前列中央)

●地域の人材育成の核となり、地域医療に貢献する

いたん大学の外に出てしまうと、なかなか勉強する機会に恵まれないという声をよく聞くことがあります。こういった声を踏まえ、本院で実施している研修会を開放するなど、地域の医療職のキャリア形成をサポートしていくような取り組みを始めてい

ます。大学病院に所属する人材だけを育成するのではなく、医師会や関連する医療機関などと連携し、地域の医療人がキャリアを形成していく中核組織として、地域医療を担う人材の育成を目指します。



「トクシンに載っとるでよ！」
地域のニュースが人の間を結びます

郷土と共に歩む
徳島新聞社

ご購読のお申し込みは **0120-46-1940**
www.topics.or.jp

05

徳大病院ニュース

徳島大学病院の最新情報をお届けします

「ISO9001規格説明会」を開催しました

本院は、医療の質の保証および患者満足向上を維持、向上させるため、ISO9001の認証を取得しています。このISO9001の意義と目的を周知するために、本院では毎年、ISO9001についての規格説明会を開催しています。今年度も、7月18日に本院の審査登録機関である一般社団法人日本能率協会審査登録センターの中原登世子先生を招き、「医療におけるISO～基本、2015年改訂情報、診療記録の充実に向けて～」と題した1時間の講演を行いました。説明会には、安井夏生病院長をはじめ、医師、歯科医師、看護師、メディカルスタッフなど94名が参加し、中原先生の講義に熱心に耳を傾けていました。



「病院内阿波踊り」を開催しました

徳島の街が阿波踊り一色に染まるお盆の時期に、桟敷まで見に行けない入院患者の皆様に『阿波踊り』をお届けしたいとの思いで毎年開催している「病院内阿波踊り」を8月12日に開催しました。呼吸器・膠原病内科の三徳連、栄養学科連、こじか連の踊り子の皆さんが医科外来棟玄関ホールに特設した“ぞめきの小道”を1往復半し、優美でエネルギーな踊り、若さと生命感のあふれる踊りを披露しました。入院患者の皆さん、笑顔がいっぱい踊りを堪能されました。

「ふれあい看護体験」を実施しました

平成26年7月24日、徳島県下の高校生を対象に「ふれあい看護体験」を実施しました。今年は、高校1年生から3年生までの47名の参加があり、本院の看護師とともに、日々病棟で行われている入院患者さんに対する看護の実際を体験しました。手術部や集学治療病棟などの特殊な部署や、スキルラボでシミュレーターを使ったトレーニングの様子を見学してもらいました。高校生からは、期待以上であるとの評価が87%あり、「看護師の仕事は、たいへんけれどやりがいのある仕事であり、自分もやってみたい」との感想がありました。参加者の中からは、これからも、ますます看護の仕事に興味をもって、いろいろなことを勉強していくと将来の夢を語ってくれました。



「愛と知と技のバランスのとれた看護職養成 平成26年度第1回報告会」を開催しました

平成26年8月11日、本学大塚講堂において開催され、他施設を含め124名の参加がありました。「基礎教育と臨床現場との人事交流を推進するために」をテーマに、特別講演として「看護教員の臨床における看護実践の実際と成果」を神戸大学宮脇郁子教授と長尾式子助教に講演いただき、「徳島大学における実践報告」として本学高野みち子助教と桑村由美助教から報告しました。その後、本学雄西智恵美教授と本院高開登茂子副看護部長の座長でディスカッションが行われ、活発な意見交換が行われました。参加者から「大学と病院との相互に利益のある人事交流を持つことの大切さを実感できました」など、多数のご意見をいただきました。



「医療技術職員職場体験」を開催しました

平成26年8月26日、医療現場で活躍する医療技術職員の仕事を知つもらうことを目的とした「医療技術職員職場体験」を本院診療支援部において開催しました。6回目となる今年度は、徳島県内の中学生・高校生を対象に計44名の参加がありました。参加者は5班に分かれ、臨床検査技術部門、診療放射線技術部門、臨床工学技術部門、リハビリテーション部門、歯科医療技術部門の5部門を見学しました。見学先では、採血シミュレーターを使った採血の体験、リハビリで実際に患者さんが使用している道具の体験、歯科用マネキンを使っての歯磨き体験など様々な医療技術職員の仕事を体験していました。参加者は、普段は入ることができない最先端の医療現場を真剣に見学していました。



市民公開講座等の ご案内

■徳島臓器移植フォーラム2014「いのちの贈りもの」

【日時】平成26年10月12日(日)13:00~15:00(12:00開場) 【場所】徳島大学蔵本キャンパス大塚講堂
【参加費】無料 【問い合わせ】消化器・移植外科医局 Tel.088-633-7139

臨床試験管理センターからのお知らせ 治験に参加しませんか?

現在、治験への参加をお願いしている病気は次の通りです

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------|
| ●2型糖尿病性腎症 | ●前立腺癌 | ●中心静脈栄養施行中の方 |
| ●アルツハイマー型認知症 | ●原発性リンパ浮腫 | ●小児自閉性障害 |
| ●慢性炎症性脱髓性多発神経炎 | ●双極性障害 | ●多発性骨髄腫 |
| ●多巣性運動ニューロパチー | ●血小板減少症を伴う慢性肝疾患 | ●ギラン・バレー症候群 |
| ●腎癌 | ●肝細胞癌 | |

問い合わせ先／
臨床試験管理センター
Tel. 088-633-9294

どうぞ気軽に
お問い合わせください。

- 製造販売後臨床試験**
- 多発性骨髄腫
 - ポリープ状脈絡膜
血管症



06

TOKUDAI BYOIN NEWS

病院のお仕事いろいろ

その1

07

患者さんの状態を把握し、適切な評価と訓練を

皆さんは「食べる」ことはお好きでしょうか。「食べる」という行為は、多くの人が楽しみにしていることで、また、必要なエネルギーを摂取する重要な役割を果たしています。その食べる機能に障害が起こることを摂食・嚥下障害といい、主な症状として、食事中や食後によくむせたり、体重や尿量が減少したり、風邪ではないのに発熱が続いたりとさまざまな症状があります。脳卒中やパーキンソン病などの神経や筋肉の病気、または舌がんや喉頭がん、加齢などが原因とされています。

摂食・嚥下障害で生じる問題は肺炎や低栄養など命に関わるだけでなく、食べる楽しみを失ってしまうので精神的なダメージも受けます。そこで兼本副看護師長は、摂食・嚥下障害看護認定看護師として、患者さんが安全かつ楽しく食事ができるよう、患者さんの状態をしっかりと把握し、医師や言語聴覚士と相談しながらその患者さんにあつた訓練や食形態を考えているそうです。また、聴診器を使

摂食・嚥下障害看護認定看護師

兼本 ひろみ(かねもと ひろみ)
副看護師長



聴診器で飲み込み機能を確認

って唾液や水がきちんと飲み込みができるか確認したり、レントゲン透視装置を使用して、飲み込みの様子を確認するVF(嚥下造影検査)を実施して、どの程度食事が可能なのか検査を行い、無理のない食事を提供しているとのことです。退院する患者さんに対しても、適切な食事方法を記載したパンフレットを渡すなど、サポートを行っています。兼本副看護師長は、患者さんに合わせた栄養投与法や食事のスタイルを確立することが重要と話をしてくれました。

「今後は、本院で唯一の摂食・嚥下障害看護認定看護師として、後に続く認定看護師を育成しつつ、全スタッフにも摂食・嚥下の知識を持ってもらえるように活動ていきたいです。

また、現在も、チーム医療として多職種と連携して治療に取り組んでいますが、さらに栄養士を加え、患者さんの栄養面をサポートできるような体制を作り、チーム医療を充実させていきたいです。」(兼本副看護師長)

病院のお仕事いろいろ

その2

院内感染を防ぎ、安心で安全な病院環境を目指して

感染管理認定看護師

藤原 範子(ふじわら のりこ)
副看護師長



「院内感染」という言葉を聞いたことはありますか?院内感染とは、医療機関で新たにウィルスや細菌などの病原体に感染してしまうことです。抵抗力や免疫力が弱った患者さんには、たとえ健康な方には無害な細菌であっても、感染してしまうと重篤な病気を引き起こすことがあります。そのため、医療機関での感染対策はとても重要であり、本院でも感染制御部を中心として様々な取り組みを行っています。今号は、感染制御部専従の感染管理認定看護師として、日々院内の感染対策に取り組んでいる藤原副看護師長について紹介します。



医療スタッフに正しい手洗方法を説明

藤原副看護師長の1日は、院内の耐性菌(抗菌薬が効きにくい細菌、抗菌薬が効かないことにより、耐性菌に感染してしまうと治療が困難になることがある。)のチェックからはじめります。システムから、どのような耐性菌を持った患者さんが、どの病棟にどれくらいいらっしゃるかを把握し、感染に広がりがないかなどに目を光らせ

ます。それが終わると、気になる症状の患者さんがいる病棟に足を運び、スタッフが適切に処置を行っているかの確認や説明。その他、病棟の巡回や中心静脈カテーテル関連感染症に対する調査・監視。さらに、MRSAなどの耐性菌が発生した際には、その拡大を防ぐため直ちに病棟に向かい、対応策をスタッフに説明します。また病棟環境に問題がないかについてチェックを行うなど、感染のスペシャリストとしてその知識をフル活用し、様々な取り組みを行っています。

感染対策は、すべての医療従事者が行わなければならないものであり、そのためには職員の知識の向上や協力が重要となります。「院内のスタッフは、勉強会の開催など感染制御部や認定看護師に様々な要望を持っていると思います。そのため、気軽に相談してもらえるような親しみを持たれやすい感染管理認定看護師を目指しています。その結果、院内の感染予防や環境改善に繋げていけたらと考えています。」(藤原副看護師長)

病院ボランティア大募集

特別な資格がなくても、「患者さんの役に立ちたい」と思っている方なら、どなたでもできます。徳島大学病院では、患者さんのサービス向上を図るために、病院内でのボランティア活動にご協力いただける方を募集しています。

主な活動内容

- 総合案内
 - ・院内施設の案内・受診手続きの補助
 - ・車いすでの搬送介助
- 患者図書室
 - ・図書の貸出、整理・病棟への移動貸出
- その他
 - ・病棟での患者さんの介助等(随時)

左記の活動以外でも、「こんなボランティアをしてみたい!」というご希望がありましたら、総務課までご相談ください。
■病院ボランティアに関するお問い合わせ
徳島大学病院
総務課 Tel.088-633-7011

HOTEL CLEMENT TOKUSHIMA



<http://www.hotelclement.co.jp> —CHECK!

ホテルならではの上質な空間と、行き届いたサービス。

全ての客室・レストラン・宴会場など、全面リニューアルオープンしました!

JR徳島駅
直結ホテル



【ホテルクレメント徳島】

〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61

Tel.088-656-3111



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.16

地域連携病院⑫「きたじま田岡病院」

今回は、リハビリテーションに力をそそぐ、きたじま田岡病院を紹介します。

■住み慣れた地域での治療を推進

「きたじま田岡病院」は、患者さんが住み慣れた地域で最適な治療を受けられるように日々努めています。さまざまな診療科を備えており、急性期の治療だけでなく、回復期の治療にも対応しています。なお、高度医療を徳島大学病院で受けた後の患者さんを受け入れたり、徳島大学病院からの医師派遣を推進したりなど連携を深めています。

また、年間約600台の救急車を受け入れるなど救急指定病院として大きな役割を果たしています。県内では緊急の骨折患者さんを受け入れる病院が少ない中、「きたじま田岡病院」は内科医と外科医が常置しているので、糖尿病等の疾患を持つ骨折患者さんにも対応することができるということです。

■質の高いリハビリテーションの提供

治療や手術を終えた患者さんが安心して在宅で生活できるためには、十分なりハビリテーションを受ける必要があります。そこで「きたじま田岡病院」では、優秀な人材を配置するだけでなく施設や設備を充実さ

せ、質の高いリハビリテーションを提供しています。回復までの期間が短いことや、「他病院で治療を受けていてもリハビリテーションはきたじま田岡病院で」という患者さんが多いことが、何よりの証拠です。また、増設中の病棟用リハビリテーション施設が完成すれば、現在の1.5倍の広さとなり、リハビリテーションの更なる充実が期待されています。

■地域活動を強め、より信頼される病院へ

「きたじま田岡病院」は、積極的に地域での講演活動に取り組んでおり、その分かりやすい内容と職員の気さくな対応が好評で、今では地域の老人会や婦人会、自治体から月に1回程度の講演依頼があり、地域になくてはならない存在となっています。

最後に、宮本理事長は「患者さんが元気に在宅に戻り社会復帰できるように質の高い医療を提供していきたい。また、さらに地域活動を発展させるとともに、若年層へのリハビリテーションにも力を入れていきたい」と今後の意気込みを話してくれました。

「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



■問い合わせ

医療法人 きたじま倚山会

きたじま田岡病院

板野郡北島町飼浜字川久保

30番地1

Tel. 088-698-1234

■説明は、左上から

宮本 貴由(みやもと よしうき)理事長

新田 かおる(にったかおる)看護総師長

尾形 雄司(おがた ゆうじ)事務課長

折村 秀美(おりむら ひでみ)看護副部長

小笠 公美(おがさ ひとみ)医療ソーシャルワーカー社会福祉士

食事のヒント

テーマ 動脈硬化を予防しよう～脂肪を上手にとるポイント～

脂肪の摂りすぎは肥満や脂質異常症の原因となり動脈硬化が進みます。しかし、脂質はエネルギー源やホルモンの材料といった重要な役割があり、適度な脂質は体に必要です。今回は、脂質の量と質を考えたメニューをご紹介します。



回答は、栄養部
谷 佳子
(たよしこ)

秋刀魚のオイスター・ソース炒め



肉を青魚に変えて、オリーブ油を使用しました。

作り方

【材料】秋刀魚60g、塩・こしょう少々、小麦粉3g、オリーブ油3g、玉ねぎ20g、しめじ20g、かぼちゃ10g、ヒーマン5g、赤パプリカ5g、オリーブ油2g、調味料:オイスター・ソース3g、醤油3g、酒3g

【栄養量】280kcal、炭水化物11g、蛋白質13g、脂質20g、食塩1.2g、食物繊維2.0g

【作り方】① 秋刀魚は3枚におろして食べやすい大きさに切り、塩コショウをふり、小麦粉をつけてオリーブ油で焼く。② かぼちゃや野菜を一口大の大きさに切る。③ ②をオリーブ油で炒める。火が通ったら①と調味料を加えて炒める。

五目豆



大豆にもコレステロールを下げる不飽和脂肪酸が含まれます。

作り方

【材料】水煮大豆30g、蓮根10g、人参10g、こんにゃく10g、昆布少々、醤油4g、砂糖2g、だし汁適量

【栄養量】65kcal、炭水化物8g、蛋白質5g、脂質2g、食塩0.8g、食物繊維2.6g

【作り方】① 大豆以外の材料を1cm角に切る。② 大豆と①、だしを入れて煮立たら、砂糖を加えひと煮立ちさせたら、醤油を加え弱火で軟らかくなるまで煮て、味を含ませる。

青菜のカシューナッツ和え



カシューナッツは不飽和脂肪酸の他、鉄、亜鉛、銅などのミネラル類も豊富に含まれます。

作り方

【材料】青菜60g、人参10g、カシュークリップ3g、醤油6g

【栄養量】45kcal、炭水化物4g、蛋白質3g、脂質3g、食塩0.4g、食物繊維2.3g

【作り方】① カシューナッツは食感が楽しめるように荒めに碎く。② 青菜は茹でて適当な大きさに切り、人参は千切りにして茹てる。③ ①と②をまぜ醤油で合える。

オリーブ油やしそ油などの植物油や、青魚に含まれる魚油、大豆製品、ナッツ類には動脈硬化を予防する不飽和脂肪酸が含まれます。肉の脂の摂取を控え、植物や魚に含まれる脂をバランスよく摂りましょう。